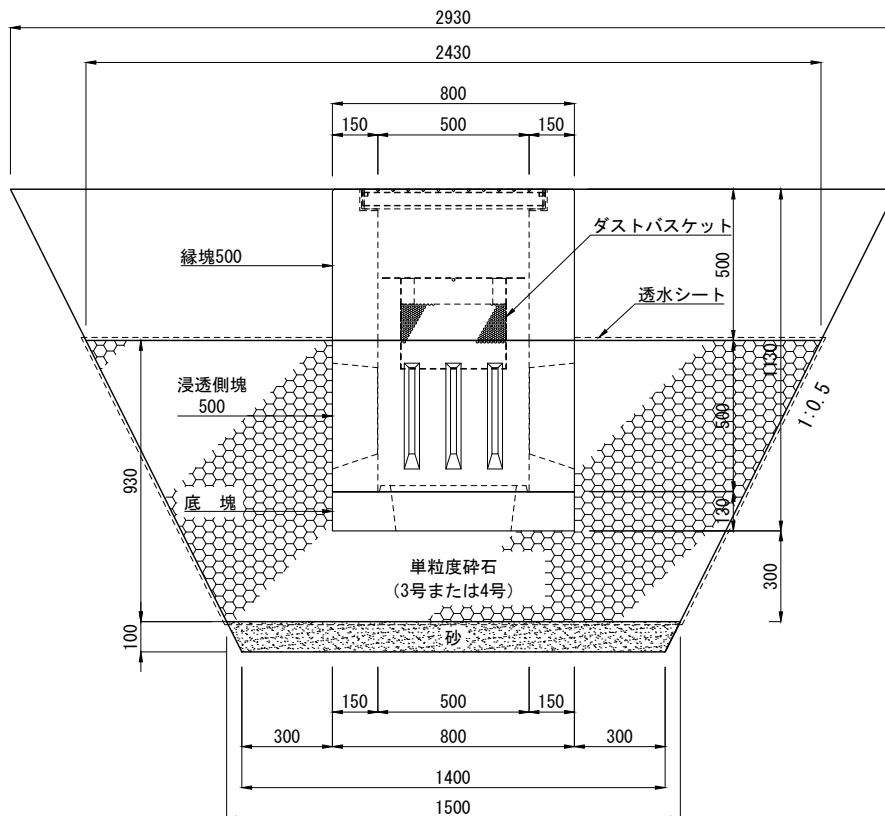


# T Y S 中型浸透柵500 布設標準構造図(例1)

単位 : mm



土質別単位設計処理量

	土壌の飽和浸透係数 k (cm/sec)	単位設計浸透量 Q (m <sup>3</sup> /h/基)	単位設計貯留量 V (m <sup>3</sup> /基) <sup>注(1)</sup>	単位設計処理量 Qv (m <sup>3</sup> /基) <sup>注(1)</sup>
シルト	4.50 × 10 <sup>-6</sup>	0.302	1.294	1.596
微細砂	3.50 × 10 <sup>-5</sup>	2.348	1.294	3.642
細砂	0.015	10.064	1.294	11.358
中砂	0.085	57.031	1.294	58.325

注(1) 単位設計貯留量Vおよび単位設計処理量Qvは降雨時の雨水をどのくらい貯留または処理できるかという参考的な値です。浸透設計においては、単位設計浸透量Q値で比較検討をお願いします。

材料表

1基当たり

種別	規格・寸法	単位	数量	摘要
縁塊	500	個	1	参考質量 437kg/(1個)基
浸透側塊	500	個	1	参考質量 409kg/(1個)基
底塊	500用	個	1	参考質量 162kg/(1個)基
単粒度砕石	3号または4号	m <sup>3</sup>	3.225	
砂		m <sup>3</sup>	0.210	100mm厚
透水シート		m <sup>2</sup>	17.962	

注(2) 単粒度砕石は3号または4号を使用してください。

(3) 透水シートの目詰まり防止のため、ダストバスケットの使用をお勧めします。

(4) 底塊の開口部にも単粒度砕石を充填してください。

(5) この布設標準構造図は参考図ですので、必要に応じて材料の必要量を調整してください。

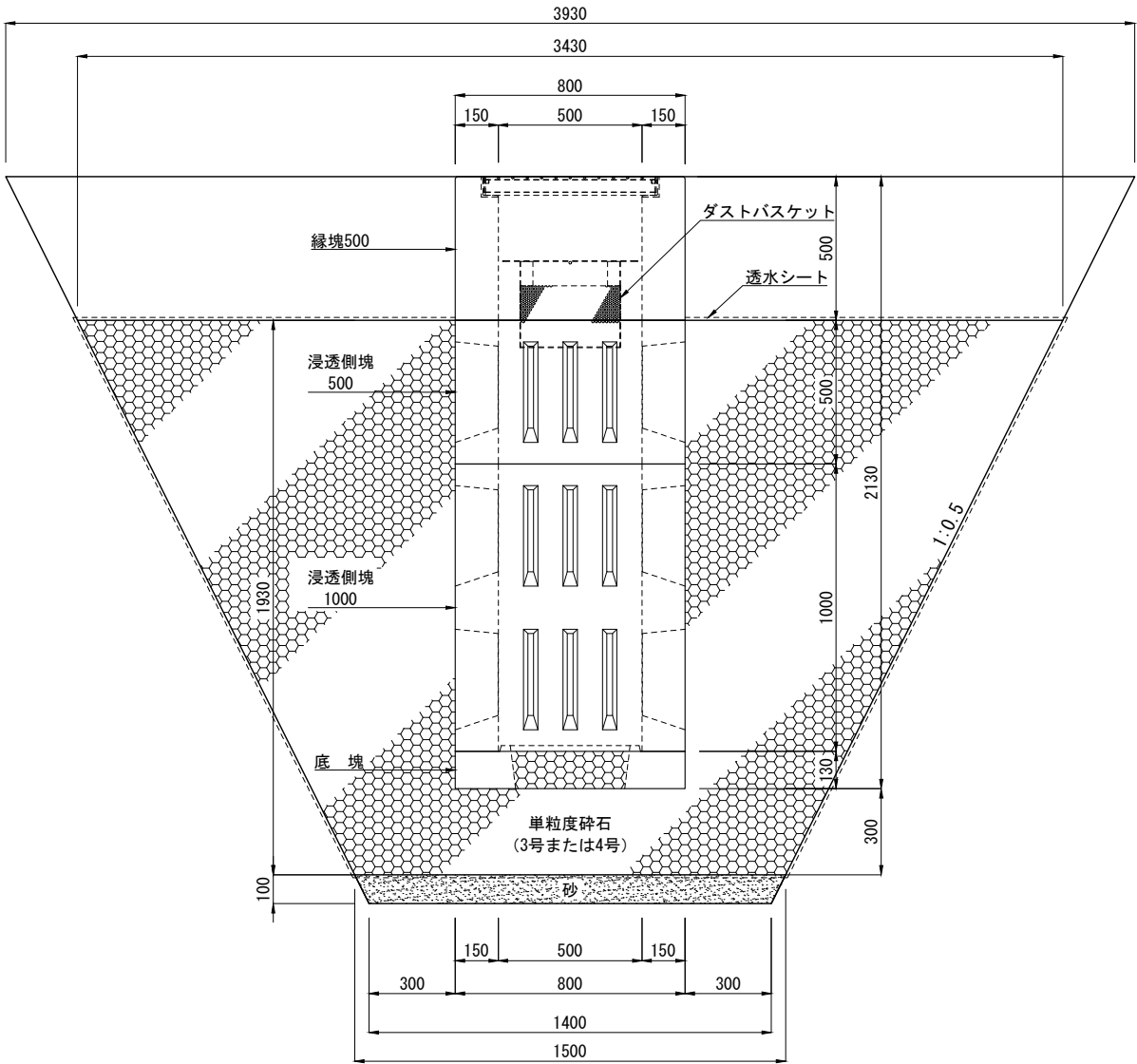
(6) 土質により異なりますが、実際の床掘りの縦坑壁勾配は1:0.5位を目安にしてください。

(7) この布設標準構造で、敷地土壌が微細砂、敷地面積200m<sup>2</sup>、降雨強度90mm/hrとした場合の必要基数は6.9基となります。

製品名	T Y S 中型浸透柵500 布設標準構造図(例1)	図面番号	
規格	縁塊500+浸透側塊500+底塊		
製図	E:2020.08.03 R:2025.11.20 縮尺 1/25		東洋コンクリート工業株式会社

T Y S 中型浸透枈500 布設標準構造図(例2)

単位：mm



土質別単位設計処理量

	土壌の飽和浸透係数 k (cm/sec)	単位設計浸透量 Q (m <sup>3</sup> /h/基)	単位設計貯留量 V (m <sup>3</sup> /基) <sup>注(1)</sup>	単位設計処理量 Qv (m <sup>3</sup> /基) <sup>注(1)</sup>
シルト	4.50×10 <sup>-7</sup>	0.646	4.023	4.669
微細砂	3.50×10 <sup>-7</sup>	5.023	4.023	9.046
細 砂	0.015	21.528	4.023	25.551
中 砂	0.085	121.994	4.023	126.017

注(1) 単位設計貯留量Vおよび単位設計処理量Qvは降雨時の雨水をどのくらい貯留または処理できるかという参考的な値です。浸透設計においては、単位設計浸透量Q値で比較検討をお願いします。

材 料 表

1基当たり

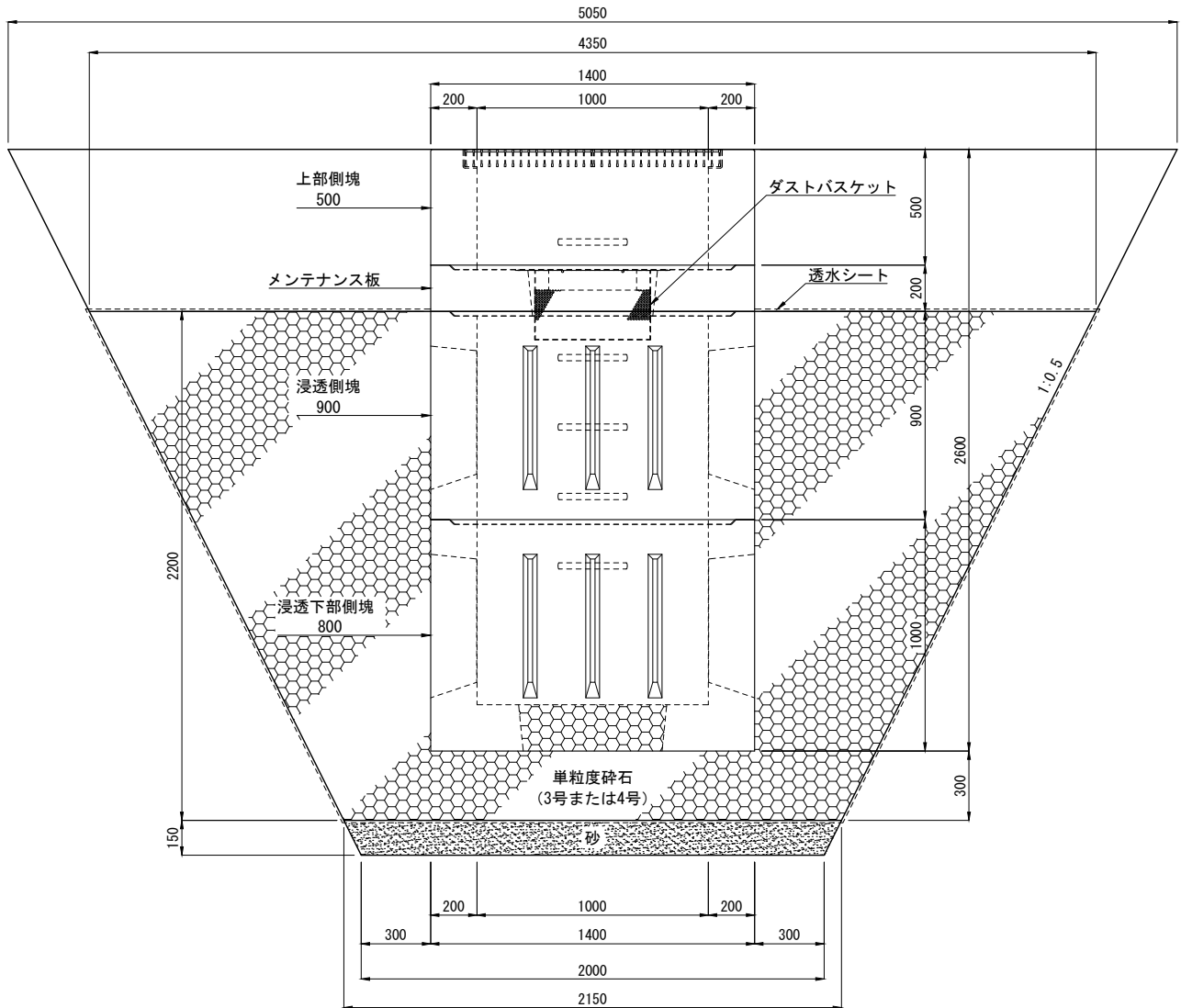
種 別	規 格・寸 法	単 位	数 量	摘 要
縁 塊	500	個	1	参考質量 437kg/(1個)基
浸透側塊	500	個	1	参考質量 409kg/(1個)基
浸透側塊	1000	個	1	参考質量 806kg/(1個)基
底 塊	500用	個	1	参考質量 162kg/(1個)基
単粒度砕石	3号または4号	m <sup>3</sup>	11.283	
砂		m <sup>3</sup>	0.210	100mm厚
透水シート		m <sup>2</sup>	36.656	

- 注(2) 単粒度砕石は3号または4号を使用してください。  
(3) 透水シートの目詰まり防止のため、ダストバケットの使用をお勧めします。  
(4) 底塊の開口部にも単粒度砕石を充填してください。  
(5) この布設標準構造図は参考図ですので、必要に応じて材料の必要量を調整してください。  
(6) 土質により異なりますが、実際の床掘りの縦坑壁勾配は1:0.5位を目安にしてください。  
(7) この布設標準構造で、敷地土壌が微細砂、敷地面積200m<sup>2</sup>、降雨強度90mm/hrとした場合の必要基数は3.2基となります。

製品名	T Y S 中型浸透枈500 布設標準構造図(例2)			図面番号	
規 格	縁塊500+浸透側塊500+1000+底塊				
製 国	E:2020.08.03	R:2025.11.20	縮尺	1/25	東洋コンクリート工業株式会社

T Y S大型浸透枮1000 布設標準構造図(例1)

單位：mm



土質別單位設計處理量

	土壌の飽和浸透係数 k (cm/sec)	単位設計浸透量 Q (m <sup>3</sup> /h/基)	単位設計貯留量 V (m <sup>3</sup> /h/基) <sup>注1)</sup>	単位設計処理量 Qv (m <sup>3</sup> /基) <sup>注1)</sup>
シルト	$4.50 \times 10^{-2}$	0.941	8.706	9.647
微細砂	$3.50 \times 10^{-3}$	7.318	8.706	16.024
細 砂	0.015	31.364	8.706	40.070
中 砂	0.085	177.730	8.706	186.436

注(1) 単位設計貯留量Vおよび単位設計処理量Qvは降雨時の雨水をどのくらい貯留または処理できるかという参考的な値です。浸透設計においては、単位設計浸透量Q値で比較検討をお願いします。

### 材料表

1基当たり

種 別	規 格・寸 法	単 位	数 量	摘 要
上部側塊	500	個	1	参考質量 1096kg/(1個)基
メンテナンス板	1000用	個	1	参考質量 784kg/(1個)基
浸透側塊	900	個	1	参考質量 1906kg/(1個)基
浸透下部側塊	800	個	1	参考質量 2499kg/(1個)基
単粒度砕石	3号または4号	m <sup>3</sup>	20.401	
砂		m <sup>3</sup>	0.646	150mm厚
透水シート		m <sup>2</sup>	58.723	

注(2) 単粒度碎石は3号または4号を使用してください。

(3) 透水シートの目詰まり防止のため、ダストバケットの使用をお勧めします。


(4) 底塊の開口部にも単粒度碎石を充填してください。

(5) この布設標準構造図は参考図ですので、必要に応じて材料の必要量を調整してください。

(6) 土質により異なりますが、実際の床掘りの縦坑壁勾配は1:0.5位を目安にしてください。

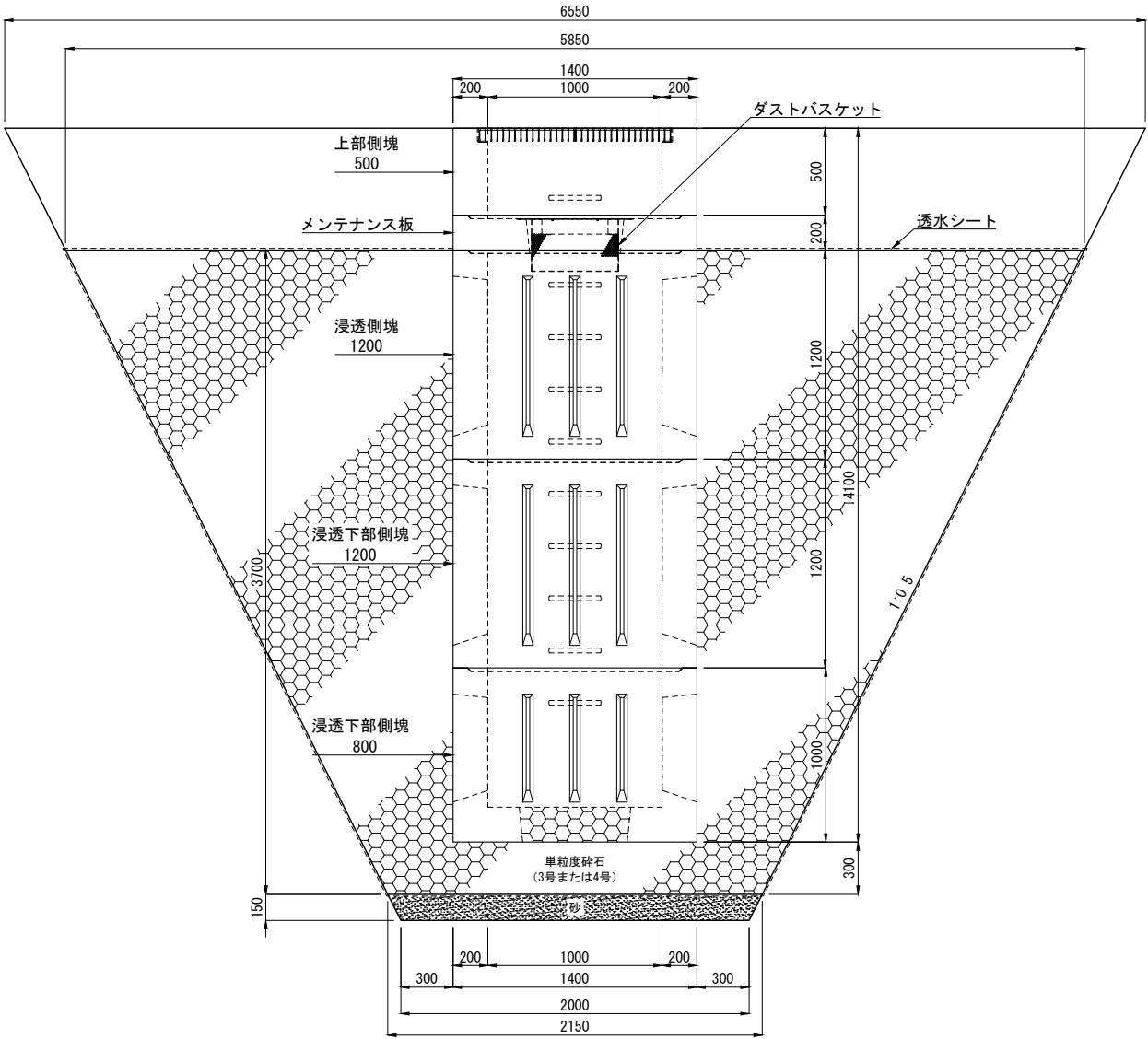
(7) この布設標準構造で、敷地土壌が微細砂、敷地面積 $200\text{m}^2$ 、降雨強度 $90\text{mm/hr}$ とした場合の

必要基数は2.2基となります。

TY S大型浸透柵1000 布設標準構造図(例1)		図面番号	
製品名 規格	上部側柵500+メンテナンス板+ 浸透側柵900+下部側柵800		
製 図	E:2020.08.03   R:2025.11.20	縮尺 1/30	
			東洋コンクリート工業株式会社

# T Y S大型浸透枈1000 布設標準構造図(例2)

単位：mm



土質別単位設計処理量

	土壌の飽和浸透係数 k (cm/sec)	単位設計浸透量 Q (㎡/h/基)	単位設計貯留量 V (㎡/基) <sup>注(1)</sup>	単位設計処理量 Qv (㎡/基) <sup>注(1)</sup>
シルト	$4.50 \times 10^{-5}$	1.728	21.358	23.086
微細砂	$3.50 \times 10^{-3}$	13.438	21.358	34.796
細砂	0.015	57.592	21.358	78.950
中砂	0.085	326.354	21.358	347.712

注(1) 単位設計貯留量Vおよび単位設計処理量Qvは降雨時の雨水をどのくらい貯留または処理できるかという参考的な値です。浸透設計においては、単位設計浸透量Q値で比較検討をお願いします。

材料表

1基当たり

種別	単位	数量	摘要
上部側塊	500	個	1 参考質量 1096kg/(1個)基
メンテナンス板	1000用	個	1 参考質量 784kg/(1個)基
浸透側塊	1200	個	2 参考質量 2520×2=5040kg/(2個)基
浸透下部側塊	800	個	1 参考質量 2499kg/(1個)基
単粒度砕石	3号または4号	㎡	56.757
砂		㎡	0.646 150mm厚
透水シート		㎡	111.656

注(2) 単粒度砕石は3号または4号を使用してください。

(3) 透水シートの目詰まり防止のため、ダストバスケットの使用をお勧めします。

(4) 底塊の開口部にも単粒度砕石を充填してください。

(5) この布設標準構造図は参考図ですので、必要に応じて材料の必要量を調整してください。

(6) 土質により異なりますが、実際の床掘りの縦坑壁勾配は1:0.5位を目安にしてください。

(7) この布設標準構造で、敷地土壌が微細砂、敷地面積200㎡、降雨強度90mm/hrとした場合の必要基数は1.2基となります。

製品名	T Y S大型浸透枈1000 布設標準構造図(例2)	図面番号	
規格	縁塊500+浸透側塊500+1000+底塊		
製図	E:2020.08.03 R:2025.11.20 縮尺 1/40		